

「たぬきの糸車」本時の目標： ・話し合いを通して、たぬきの気持ちの変化に気づくことができる。

④糸車をまわすたぬきの気持ちをかんがえよう。

糸車への思い

- ・糸車をまわせたのしいな。
- ・やっと糸車まわせてうれしいな。
- ・上手に糸車まわせるかな。
- ・糸車まわすの難しいな。

おかみさんへの思い

- ・おかみさんに会いたいな。
- ・おかみさん喜んでくれるかな。
- ・おかみさんのためにがんばろう

★二場面と四場面のたぬきの様子を比べさせる。

(教師の発問 『おかみさんをよろこばせたい。』『おかみさんにおどろかせたい。』はどの文章から考えましたか。)

二場面のたぬき

- ・糸車をじっと見ていた。
- 糸車おもしろそう。
- ・糸車をまわす真似をしていた。
- 糸車をまわしてみたい
- ・「まいばん、まいばんやってきた」
- 糸車が気になる

糸車をまわしたい

小
金
色
の
深
い
学
び

四場面のたぬき

- ・糸のたばを山のようにつんでいる。
- 糸のたばをたくさん作って驚かせたい。
- ・ほこりだらけのはずの糸車には、まきかけた糸までかかっています。
- 毎日、糸車をまわしに来ている。
- ・おかみさんがしていたとおりに、 たばねてわきにつみかさねました。
- おかみさんのように上手に糸のたばを作りたい。

おかみさんに恩返ししたい

おかみさんを喜ばせたくて、糸車をまわしていた。

〈児童に書かせたいふり返し〉

B 評価→たぬきのおかみさんに恩返ししたい気持ちを書くことができる。

A 評価→たぬきの気持ちが変わっていることを根拠も含めて書くことができる。